

ふくやま実験クエスト 課題内容

No.／名称	No.2／天然記念物の状況把握・分析の効率化
<p>現状(背景)</p>	<p>福山市内には、28件の天然記念物が所在している。これらは、樹木、草花、岩石や昆虫など自然の中に所在しているものが大半を占めており、環境の変化を受けながらも現在まで維持され、地域の自然環境を知る貴重な宝である。 例:エヒメアヤメ、石灰岩巨大礫、ゲンジボタルなど https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/bunka/63787.html#shisekinado</p> <p>天然記念物の保存のため、気(天)候など様々な環境変化が与える影響を把握し、適切な保存手段を検討していきたいが、天然記念物の種別により状況把握の方法が大きく異なるうえ、山間部や崖上など人が立ち入りにくい場所に所在しているものもあり、状況把握に課題がある。</p> <p>【岩石・自然景観等】 変化は極めて少なく、長期の観察によりはじめて変化が分かる。</p> <p>【植物】 代替わりサイクル(種類によって長短あり)があり、種全体の変化を把握する必要がある。</p> <p>【生物(昆虫含む)】 一定の範囲で移動するため、生体(痕跡含む)の追跡、出生数の観測など適切な手法の選択が必要</p> <p>一例として、「エヒメアヤメ」の状況把握に関する現状は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●株数を職員が現地で計測しているため、多くの工数が必要。 ●気(天)候などの環境変化が与えている影響の把握が難しい。 ●細やかな状況把握が難しいため、有効な保存手段の検討が困難な状況である。
<p>目標(目指す姿)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生息数などを効率的に把握できている。 ●人が立ち入りにくい場所に所在する天然記念物の状況把握が円滑にできている。 ●気(天)候などの環境変化が天然記念物に与える影響を検討できる。 ⇒天然記念物を適切に管理・維持できている。 <p>※上記の一部のみの寄与でも提案可能</p>
<p>目標達成に向けたアクションにおいて主に懸念される項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●遠隔地に所在している場合、ウェブ機器などを接続する電波の不在 ●気(天)候などの環境変化の影響を個別・長期に分析するデータの不在